

岡山市政ニュース 速報版

2020年9月16日 日本共産党 岡山市議団 NO. 254
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

自衛隊に18歳と22歳の情報を提供 大森市長が表明

大森雅夫岡山市長が9月15日、自衛隊に対して市民の個人情報を提供すると市議会本会議で表明しました。鬼木のぞみ議員（市民ネット）の質問に答えたものです。

自衛隊員の募集については、これまでは高校2年生年代の住民基本台帳の書き写しを認めていましたが、今後は書類で提供するとしています。

提供する内容	18歳と22歳（高校3年生と大学4年生の学年）の氏名・住所。（生年月日は提供しない）
提供方法	宛名シールに印字して提供を検討。
提供を希望しない人への対応	申し出れば提供対象から除外する。詳しい手続きは今後、広報紙等で周知する。

提供は義務ではない

自衛隊への提供は義務ではありません。自衛隊への市民の個人情報提供を「当然」と言う大森市長の姿勢こそ問題です。

- 提供は義務ではなく市町村の判断次第で、全国的には提供しない自治体も多い。国会でも「市町村は法定受託事務としてこれを行っておるわけでございます。私どもが依頼をしても、こたえる義務というのは必ずしもございません」との防衛大臣答弁がある。
- 憲法13条が保障する「プライバシー権」や「自己情報コントロール権」を侵害する恐れがある。
- 市は、自衛隊とは目的外使用しない等の書面を交わすと言うが、本当にそうするか担保できない。
- 自衛隊は戦争に参加することも有り得る。そこに18歳や22歳の市民の情報を提供することは、恒久平和を願い、核兵器の廃絶や平和で幸せな岡山市を築くと誓った「岡山市平和都市宣言」に背く。

「提供ダメ」の声を大きく

日本共産党岡山市議団は、多くの市民の方とも力を合わせながら、提供しないよう厳しく求めています。

「私たちのことを私たち抜きで決めないで」「私の情報は提供させない」の声を大きく広げましょう。

市議団ブログでも詳しくお伝えしています

